



宗四小だより

11月号

志木市立宗岡第四小学校
志木市上宗岡1-1-2
048-473-5250



<http://www.mune4syo.ed.jp/>

児童数589名 令和4年11月1日発行

目指す学校像『笑顔・感動いっぱい 虹色に輝く みんなの学校』



「見える思いやり(行動) と 見えない思いやり(心の内)」



校長 高柳 政行

2学期が始まって二日目の朝だったと思うのですが、通学班のある1年生児童の道具箱が歩道に落ちて中の物が散乱してしまうという場面に出くわしました。物が落ちたことに気づいた高学年の児童が、すかさずその1年生児童に近づき、「大丈夫」と声をかけながら、道具箱の中身を拾い集めてくれました。その後、何事もなかったように、その通学班の児童達は正門を歩いて行きました。やさしい思いやりのある行動が見られて、いつも以上に気持ちのいい朝でした。



また、先日は、志木高校の生徒さんのやさしさあふれる行動に感謝の気持ちでいっぱいになった出来事がありました。ある児童が下校中につまずいて転んでしまい、痛くて困っていたそうです。志木高校の生徒さんは、周囲を見回し、誰かが助けてあげる様子もないことから、その困っていた児童に声をかけ、宗四小まで連れてきてくれたのです。その話を聞いて、とても温かい気持ちになりました。早速、志木高校の校長先生にお礼を兼ねて感謝の気持ち伝えさせていただきました。

私は、この2つの小さな親切から元気もらいました。また、幸せな気持ちにもなりました。どちらも、自分から困っている人に声をかけています。簡単なように思うかもしれませんがなかなか勇気がいることです。



路線バスの中で起きたできごとで、こんな話を聞いたことがあります。いかにも体調が悪そうな人がバスに乗ってきました。周囲の人にもそのことに気づいていたようでしたが、席を譲る人は誰もいませんでした。運転手はその状況を察知し、「どなたか席を譲っていただけませんか。」とアナウンスしました。すると、大勢の人が席を立って席を譲ろうとしました。自分から声をかけたり、自分から席を譲ったりすることは、大人でも躊躇しがちです。思いはあっても誰かが言ってくれりと考えたり、声をかけてことわられたらどうしようかと考えたり、その一歩を踏み出すことはなかなか難しいものです。

学校生活の中でも日々同じような思いを子ども達もしているのではないのでしょうか。誰でも様々な思いをもっているはずです。実際に行動できる人だけでなく、その内なる思いや気持ちをもつ人も大切にして、寄り添える大人でありたいものです。